



～ 地域とともに さらに伸びゆく 鶴田小 ～

つるだ

さつま町立鶴田小学校
学校便り 第5号
R7.9.10発行

家庭学習への『やる気スイッチ』 校長 田畑悦郎

2学期が始まり、子どもたちも暑さに負けず元気よく登校しています。さて、家庭での学習に対して、どんな手立てをとれば子どもたちがやる気を出すのか、保護者の方からよく尋ねられます。その際に、私がこれまでの経験の中で語ってきたことを、まとめてみましたので、参考になればと思います。



＜よくある質問：家庭学習は、
親が手伝ってあげるべきですか？＞

A：分からない問題があって困っている場合は、助けてあげた方がいい場合もありますが、手伝いすぎると、逆に子どもの自主性を損なうことも。また、「誰かがやってくれる」と他人の助けを待つクセがついてしまう恐れも。

＜家庭学習へのやる気をなくす親の行動＞

- 1 **怒る** 家庭学習をやらない子どもを、親が怒ってしまうと、なおさらやる気なくなります。
- 2 **無理やりやらせる** 強行手段も、時には必要かもしれませんが、しかし毎日のように無理強いしていると、当然やる気をなくします。
- 3 **あきらめる** どうせ言ってもやらないからとあきらめる何も改善しません。子どもへの関心を捨てずに！

＜家庭学習へのやる気を出させる親の行動＞

- 1 **机の掃除にとりかかる** 机の周りの片付けや、文房具の整理など、とにかく前準備をさせてみましょう。
- 2 **単純な問題から** 人間は、目の前の小さなハードルをクリアしていくことで、徐々にやる気スイッチが入っていくものです（1の内容とも関連があります。）
- 3 **家庭学習の意味を話し合う** 今日習ったことの復習、定着、毎日の積み重ねで

得られる学力…。納得できる答えが見つければ、自然にやる気を高めてくれます。

- 4 **ご褒美をあげる** すなわち「褒める」ということです。ポイントは、「家庭学習を始めた段階で褒める」ことです。
- 5 **親の近くで勉強させる（※低学年）**
特に低学年の子どもの場合、親に見られているとそれだけで安心します。たまに優しく声をかけてあげるとさらに効果があがります。
- 6 **やる気になるのを待つ**
ガミガミ言いたくなるのを我慢し、辛抱強く待つことが大事です。少しでも子どもが家庭学習を始める素振りを見せたら、やる気になったことを褒めてあげます。
- 7 **終わったら、**

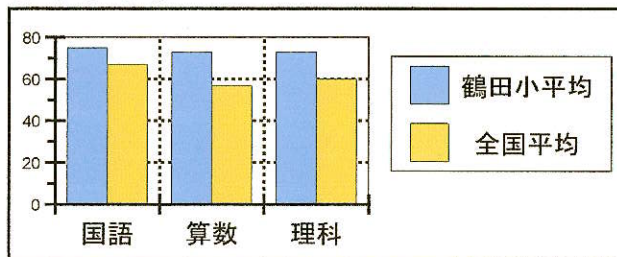
取り組んだ家庭学習を見てあげる

間違いを指摘したり、訂正させる必要はありません。「がんばったね！」それだけで子どものやる気スイッチは持続します。



全国学力・学習状況調査の結果

4月に行われ、6年生が受検した標記調査結果について、全国平均と比較したグラフを以下に示します。すべての教科で全国平均を上回っています。6年生はよく頑張りました。誤答だった問題については、現在指導を実施しております。



7月のいじめアンケート

7月は、いじめの認知はありませんでした。今後も、しっかりと見守りを続けます。

戦争体験講話



学校運営協議会で、戦争体験の講話についての話題があり、7月に元さつま町教育長の福満隆徳さん、さつま町議会議員の武さとみさん、さつま町郷土史研究会顧問・前会長の三浦哲郎さんに、3～6年生を対象に講話をしていただきました。

子ども達のなかには、そのころは卵焼きがごちそうだったのが驚いたなどの意見があり、平和の大切さを実感していました。また、今回の講話のことが南日本新聞に掲載されました。

貴重な御講話ありがとうございました。

探究学習



本年度から3～6年生が自分の興味のある個人テーマをもって活動しています。学校運営協議会でも話題にしました。

地域の方に協力をいただける場合はよろしくお願いいたします。

さつま町水泳大会



5・6年生の代表児童がすばらしい態度、成績でした。

来年度からは、町全体の学校が水泳授業をB&Gで行います。



学校ブログQRコード

10月の主な行事予定

- 8日(水)：町陸上記録会(5・6年)
- 15日(水)：運動会予行
- 19日(日)：運動会
- 22日(水)：体位・視力測定(中学年)
- 23日(木)：体位・視力測定(低・高学年)
- 29日(水)：探究学習
- 30日(木)：避難訓練(地震火災想定)

さつま町夏祭り



今年で2回目の出場で、鶴田小つるまるちゃんの会が手踊りに参加しました。

みんな楽しく踊り、鶴田小ここにあり！と示して下さいました。ありがとうございました！